

《音楽》

【 専門科目を学ぶために必要な『音楽』の基礎知識 】

氏名

< 楽譜の読み方 >

1. 音名について

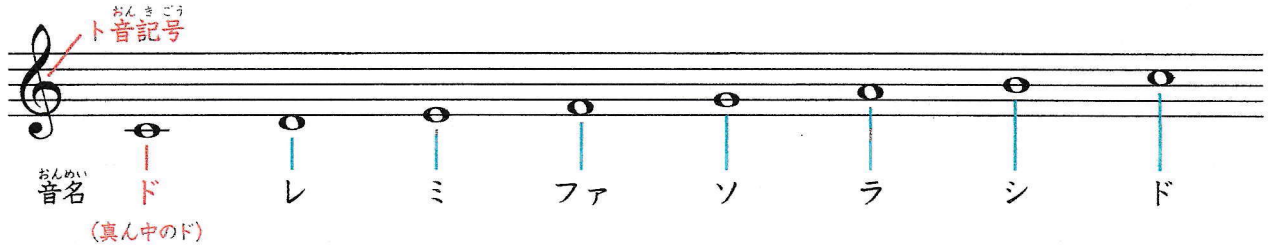
五線譜

図のような5本の線と音符や記号を使って書かれた楽譜を五線譜といいます。

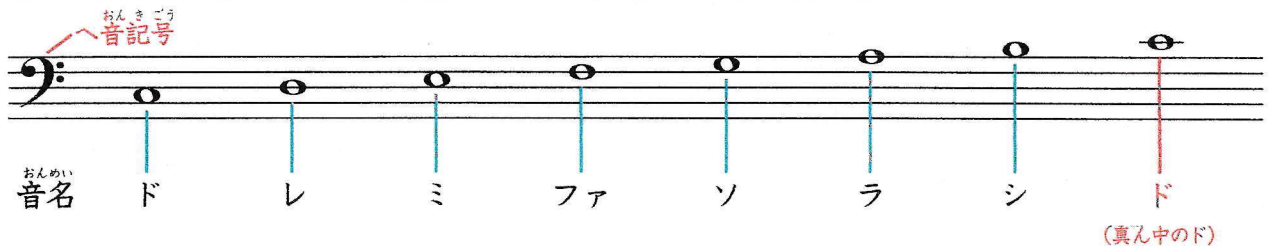


ト音記号・ヘ音記号

先頭にト音記号が書いてある五線譜では、音名は次のように読みます。

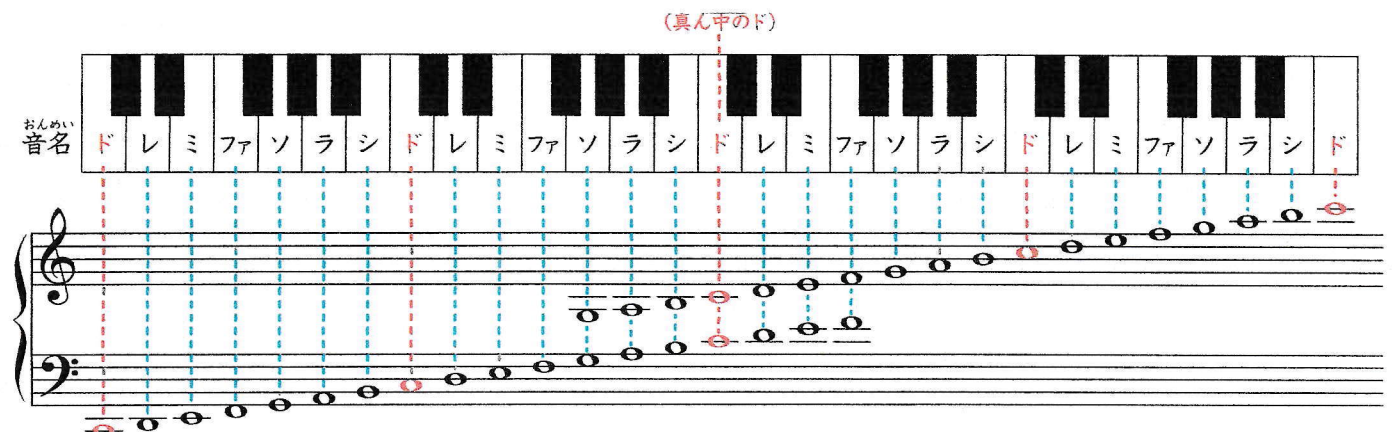


先頭にヘ音記号が書いてある五線譜では、音名は次のように読みます。



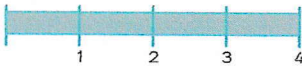
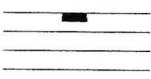
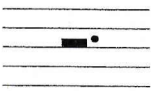
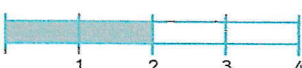
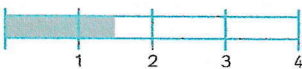
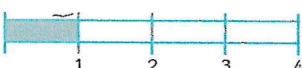
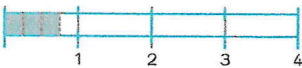
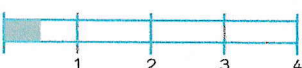
音符と鍵盤の位置

五線譜に書かれている音符と、ピアノなどの鍵盤の位置の関係は次のようになります。



2. 音符と休符について

音符と休符の長さ

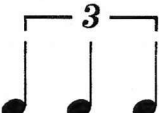
おんぶ 音符の名前	おんぶ 音符	音の長さ	同じ長さのきゅうふ 休符	きゅうふ 休符の名前
ぜんおんぶ 全音符		4 拍 		ぜんきゅうふ 全休符
ふてん ぶおんぶ 付点2分音符		3 拍 		ふてん ぶきゅうふ 付点2分休符
ぶおんぶ 2分音符		2 拍 		ぶきゅうふ 2分休符
ふてん ぶおんぶ 付点4分音符		1と1/2 拍 		ふてん ぶきゅうふ 付点4分休符
ぶおんぶ 4分音符		1 拍 		ぶきゅうふ 4分休符
ふてん ぶおんぶ 付点8分音符		3/4 拍 		ふてん ぶきゅうふ 付点8分休符
ぶおんぶ 8分音符		1/2 拍 		ぶきゅうふ 8分休符
16 ぶんぶ 16分音符		1/4 拍 		ぶきゅうふ 16分休符

※8分音符が2つ続く時は、 の代わりに 、4つ続く時は、 のように、音符同士をつなげた形で書かれます。同じように、16分音符が4つ続く時も、 と書かれます。

3連符

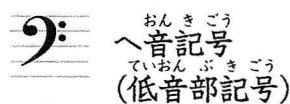
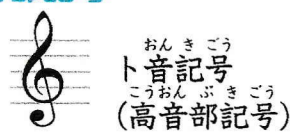
4分音符や2分音符を3つに分けるときは、3連符が使われます。

4分音符を3分した3連符  =  (  )

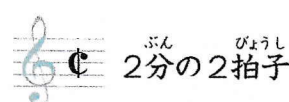
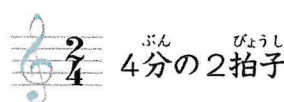
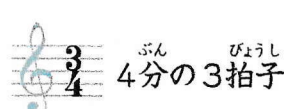
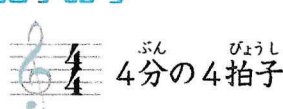
2分音符を3分した3連符  = 

3. 記号について

おんぶきごう 音部記号



ひょうしきごう 拍子記号



きょうじやくきごう 強弱記号

<i>p</i> ピアノ	弱く	<i>cresc.</i> (<i>crescendo</i>)	クレッシェンド	だんだん強く
<i>mp</i> メッゾ・ピアノ	やや弱く	<i>dim.</i> (<i>diminuendo</i>)	ディミヌエンド	だんだん弱く
<i>mf</i> メッゾ・フォルテ	やや強く		クレッシェンド	だんだん強く
<i>f</i> フォルテ	強く		デクレッシェンド	だんだん弱く

りんじきごう 臨時記号

#	シャープ	半音高くする
b	フラット	半音低くする
♮	ナチュラル	元の高さに戻す

そくどきごう 速度記号

Largo	ラルゴ	もっとも遅く
Lento	レント	遅く
Adagio	アダージョ	緩やかに
Andante	アンダンテ	歩くような速さで
Moderato	モデラート	中くらいの速さで
Allegretto	アレグレット	やや速く
Allegro	アレグロ	速く
Vivace	ヴィヴァーチェ	活発に速く
Presto	プレスト	急速に

アーティキュレーション記号 (歌い方や、演奏方法を表す)

	スタッカート	音を半分くらいの長さに切る
	スタッカティッシモ	スタッカートよりさらに短く
	テヌート	音の長さいっぱいのにのばす
	スラー	なめらかに演奏する
	タイ	音をつなげる
	アクセント	音を強調する
	フェルマータ	音を倍くらいの長さにのばす

はっそうきごう 発想記号

(さつきよくしや かんが えんそうじ しんしやうあわわ
(作曲者の考えや、演奏時の心情を表す))

<i>comodo</i>	コモド	気楽に
<i>vivace</i>	ヴィヴァーチェ	元気に機敏に
<i>legato</i>	レガート	滑らかに
<i>dolce</i>	ドルチェ	柔らかく
<i>con brio</i>	コン・ブリオ	活気をもって
<i>marcato</i>	マルカート	はっきりと
<i>cantabile</i>	カンタービレ	歌うように

はんぶくきごう 反復記号

	リピート	曲の先頭か、にもどってくり返す
	リピート	から、ここまでもどってくり返す
1.	1 番括弧	くり返しの 1 回目に演奏する
2.	2 番括弧	くり返しの 2 回目に演奏する
<i>D.C.</i>	ダ・カーポ	曲の先頭にもどる
<i>Fine</i>	フィーネ	くり返してもどった後、ここで演奏を終了する
<i>D.S.</i>	ダル・セーニョ	※の位置にもどる
※	セーニョ	<i>D.S.</i> から、ここまでもどってくり返す
to	トゥ・コーダ	の位置に飛ぶ
Coda	コーダ	to から、ここに飛ぶ

その他の記号

8 ^{va} ↑	オクターブ	1オクターブ高く演奏する
8 ^{va} ↓	オクターブ	1オクターブ低く演奏する
<i>poco</i>	ポーコ	少し
<i>simile</i>	シミレ	同じように

4. 調号・音程について

ちょうごう 調号

	ちょうちょう ハ長調 (Cメジャー)	たんちょう イ短調 (Aマイナー)		ちょうちょう ホ長調 (Eメジャー)	えい たんちょう 嬰ハ短調 (C#マイナー)
	ちょうちょう ト長調 (Gメジャー)	たんちょう ホ短調 (Eマイナー)		ちょうちょう ヘ長調 (Fメジャー)	たんちょう ニ短調 (Dマイナー)
	ちょうちょう ニ長調 (Dメジャー)	たんちょう ロ短調 (Bマイナー)		へん ちょうちょう 変ロ長調 (Bbメジャー)	たんちょう ト短調 (Gマイナー)
	ちょうちょう イ長調 (Aメジャー)	えい たんちょう 嬰ヘ短調 (F#マイナー)			

おんてい 音程

2つの音の高さの差を音程といい、「度」を使って表します。

1度 2度 3度 4度 5度 6度 7度 8度
(オクターブ)

2度、3度、6度、7度にはそれぞれ 長・短 (長2度・短2度) などがあり

4度、5度には 増・減 (増4度・減4度) などがあります。

< ピアノコード（和音） >

ピアノ初心者の方には、ぜひ覚えていただきたいのがピアノコードネームです。便利なコードを覚えてしまえば、ピアノを弾く際にも有効活用ができます。例えば、左手でコードを右手でメロディーを弾くだけでも、子どもたちと一緒に歌を楽しむことができます。

ここには基本的なメジャーコードとマイナーコードを記します。試してみましょう。

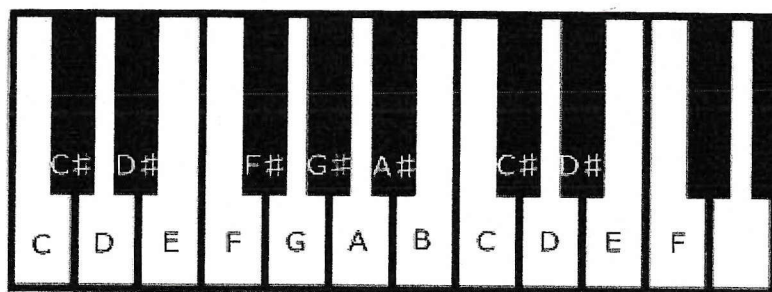
.....

まず、最初にコード名は一般的にアルファベット名で表します。

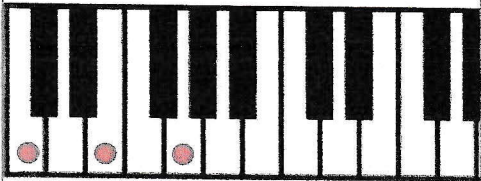
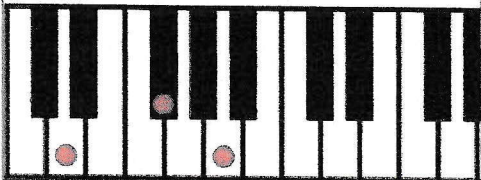
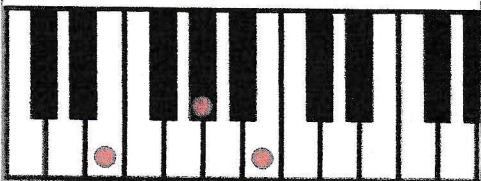
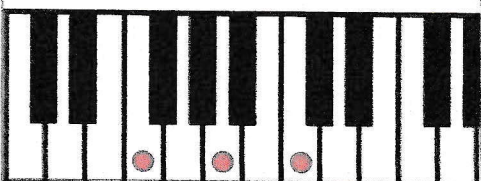
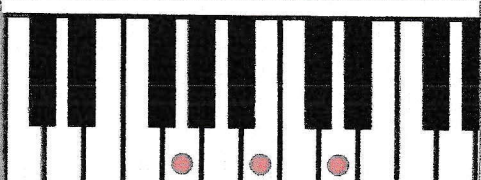
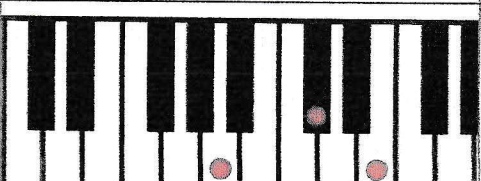
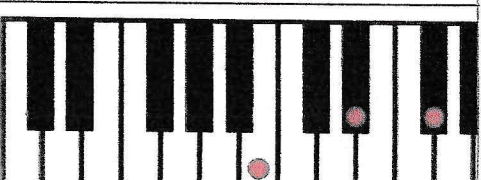
ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド → C・D・E・F・G・A・B・C

となります。

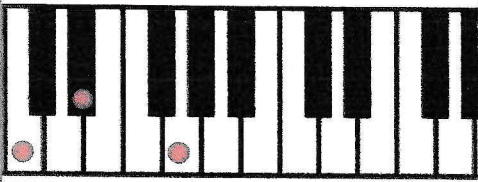
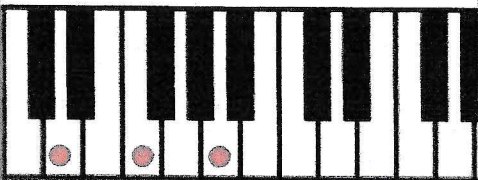
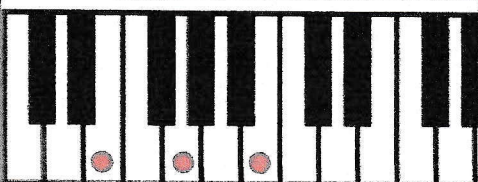
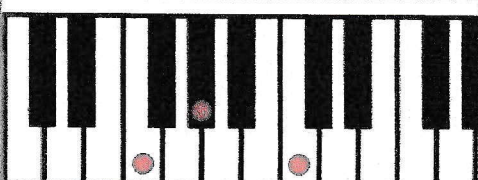
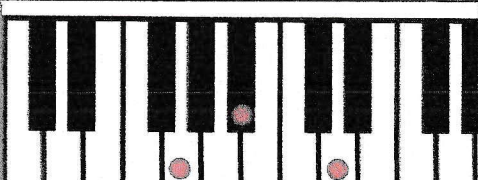
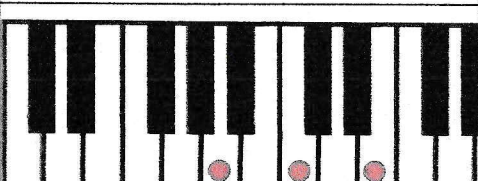
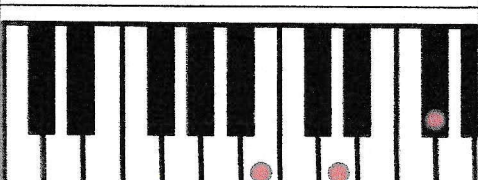
ピアノの鍵盤に重ねると次のようになります。



メジャーコード

コード名	対応音	鍵盤の場所
C	ド・ミ・ソ C・E・G	
D	レ・ファ#・ラ D・F#・A	
E	ミ・ソ#・シ E・G#・B	
F	ファ・ラ・ド F・A・C	
G	ソ・シ・レ G・B・D	
A	ラ・ド#・ミ A・C#・E	
B	シ・レ#・ファ# B・D#・F#	

マイナーコード

コード名	対応音	鍵盤の場所
Cm	ド・ミ $\flat$ ・ソ C・E $\flat$ ・G	
Dm	レ・ファ・ラ D・F・A	
Em	ミ・ソ・シ E・G・B	
Fm	ファ・ラ $\flat$ ・ド F・A $\flat$ ・D	
Gm	ソ・シ $\flat$ ・レ G・B $\flat$ ・D	
Am	ラ・ド・ミ A・C・E	
Bm	シ・レ・ファ $\sharp$ B・D・F $\sharp$	

<初心者用；ピアノの基礎練習>

1. 準備運動をしましょう。
 - ・手や指のストレッチ
 - ・肩や首のリラックス
2. 鍵盤楽器の環境を用意しましょう（環境がない場合は机・テーブル可）。
 - ・次にハ長調のドの音を探しましょう
 - ・ピアノ等の鍵盤楽器の場合には鍵盤の中央付近にドの音があります
3. それでは弾いてみましょう。

<先ず右手>

・親指から小指にかけて鍵盤、もしくは鍵盤に見立てた机等を一指（一音）ずつ弾いてみましょう。鍵盤（もしくは机）を指でしっかりと押さえましょう

ド→レ→ミ→ファ→ソ （ハ長調の音階）

- ・小指から親指にかけて鍵盤等を、一指（一音）ずつ弾いてみましょう。

ソ→ファ→ミ→レ→ド （ハ長調の音階）

<次に左手>

- ・小指から親指にかけて鍵盤等を、一指（一音）ずつ弾いてみましょう。

ド→レ→ミ→ファ→ソ （ハ長調の音階）

- ・親指から小指にかけて鍵盤等を、一指（一音）ずつ弾いてみましょう。

ソ→ファ→ミ→レ→ド （ハ長調の音階）

<左右で繰り返し何度も弾いてみましょう>

<標準バイエルピアノ教則本>を準備しましょう。

- ・バイエル3番（生徒用）を弾いてみましょう。

先ず、片手ずつ弾きましょう。右手の始まりの音は、真ん中のドの音の1オクターブ（白鍵で右に8番目）上のドの音（親指）から始まります。指の番号（次ページ参照）を確認しながら弾いてみましょう。全音符（4拍）を一音一音しっかりと押さえましょう。

次に、左手の音は真ん中のドの音（小指）から始まります。

全音符（4拍）を一音一音しっかりと押さえましょう。

今度は、両手で同時に弾いてみましょう。

- ・バイエル4番（生徒用）を弾いてみましょう。

先ず、片手ずつ弾きましょう。

2分音符（2拍）を一音一音しっかりと押さえましょう。

今度は、両手で同時に弾きましょう。

- ・バイエル7番（生徒用）を弾いてみましょう。

先ず、片手ずつ弾きましょう

4分音符を一音一音しっかりと押さえましょう。

今度は、両手で同時に弾いてみましょう。

<初心者用；続ピアノの基礎練習>

〔 指の番号；両手共通 〕

1…親指 2…人差し指 3…中指 4…薬指 5…小指

1. 準備運動をしましょう。
 - ・手や指のストレッチ
 - ・肩や首のリラックス
2. 鍵盤楽器の環境を用意しましょう（環境がない場合は机・テーブル）。
 - ・次にハ長調のドの音を探しましょう
 - ・ピアノ等の鍵盤楽器の場合には鍵盤の中央付近にドの音があります
3. それでは弾いてみましょう。
<標準バイエルピアノ教則本>を開きましょう。
 - ・バイエル 12 番（生徒用）を弾いてみましょう。

最初～4 小節を練習します。

右手の始まりの音は、真ん中のドの音の 1 オクターブ（白鍵で右に 8 番目）上のドの音（親指）から始まります。指の番号を確認しましょう。

次に、左手の音は真ん中のドの音から始まります。全音符です。4 拍のばして弾きます。今度は、両手で同時に弾いてみましょう。

弾きにくい場合はもう一度片手ずつ練習します（繰り返します）。

次に 5～8 小節を練習します。

右手から弾きます。7 小節目のメロディーが変わりますので気を付けましょう。

次は左手です。7 小節目は右手と左手の音のタイミングやバランスが乱れがちですので気を付けましょう。

コツは、7 小節目の右手の第 1 音のミの音と左手のドの音、右手第 3 音のミの音と左手のソの音を同時に弾きましょう。

弾きにくい場合はもう一度片手ずつ練習します（繰り返します）。

4 小節ごと弾けるようになったら、最初から弾いてみましょう。

ゆっくりで良いので止まらないことが大切です。

・バイエル 13 番（生徒用）を弾いてみましょう。

練習方法は、12 番と同じです。片手ずつ、4 小節ずつ区切って練習し、最後に最初から続けて弾きます。

この要領で、バイエル 23 番・24 番以降もチャレンジしてみましょう。

<練習方法の基本>

- ・「片手ずつ弾く」→→→「両手で弾く」
- ・「ゆっくり弾く」
- ・「一音一音確実に弾く」
- ・「2 小節もしくは 4 小節ずつ区切って弾く」→→→「繰り返し弾く」→→→「曲の初めから最後まで続けて弾く」